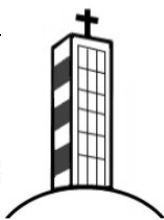


月報

NO. 700 4月号

なんざん



2023年4月8日（土）発行

カトリック南山教会

名古屋市昭和区南山町1 TEL (831)9131

URL <http://nanzankyokai.net> FAX (836)2253



2022年4月2日 枝の主日



南山教会司祭団より

主のご復活おめでとうございます！

南山教会の信徒のみなさん、聖週間にはキリストの受難と死、勝利となる復活の神秘に与り、「あなたがたに平和があるように」というキリストの挨拶がわたしたちの心の中に響いています。キリストの平和が私たち一人ひとりの心、すべての家族、信徒共同体のうちにとどまり、復活の喜びを常に伝えることができますように！

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(小聖堂)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時
*ゆるしの秘跡は各主日のミサ前に受けられます。

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ前、4時 聖体礼拝)
日曜日 午前8時・9時30分・11時・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(in the Marian Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後2時

異動にあたっての挨拶

森 智宏

この度、この四月より東京教区での任命を受け、異動することとなりました。こちらでは、一年半という短い期間、助任司祭として過ごしましたが、多くの恵みがあつたように思います。司祭として足りない部分が多い私ですが、皆さんの祈りと助けに支えられました。皆さんの祈りによって、私を支えられていることを忘れないように、次の任地でも奉仕したいと思っています。これまで支えてくださり、ありがとうございました。

南山教会の皆さまへ、

ヨハネ・トラン・ナム・フォン、SVD

皆さまもご承知のとおり、この度、わたしは吉祥寺教会へ移されることになっています。振り返ってみますと、助任司祭としてこの南山教会での任命を始めてから、2年間が経ちました。教会の皆様と共に神様の愛を追求しながら、司祭共同体と一緒に過ごすことが出来て真に幸せでした。新たな任命をもって吉祥寺教会において、南山教会での素晴らしい思い出と

学びを胸に、新たな挑戦を精一杯取り組みます。皆様との別れは寂しく辛いものですが、私たちはこの出会いと別れの中で成長していくことだと確信しています。過ぎ去った2年間ありがとうございました。司祭団をはじめ、南山教会の皆様深く感謝申し上げます。さようなら。

霊名のお祝い

伴八郎神父様



四句節黙想会 柳田敏洋神父様 3月26日



名古屋教区設立一〇〇周年の教区聖年(2022-2023)巡礼記 VOL.4

「南山アーカイブス」 「主税町教会」 「布池教会」 「緑ヶ丘教会」 (2022年10月17日)

—名古屋地下鉄巡礼記—

森 直樹

昨日の多治見教会の巡礼に続き、南山教会以外の名古屋の教会・施設の巡礼をさせて頂いた。この巡礼は当初自転車で行うことを計画していたが、昨日自転車で多治見から帰宅し足腰が疲れていた為、地下鉄にて行うこととした。

【南山アーカイブス】

教会と共に歩む南山学園の歴史を観ることが出来、半世紀前に撮影された南山高校夜間部の卒業写真の中に、父の姿を見つけ、時の流れを感じた。

【主税町教会】

名古屋教区初の教会、また中部地方の宣教はここから始まった。ルルドのマリア様は日本で2番目に古いとのこと。この教会では以前24時間聖体礼拝が行われており与らせていただいた。当時長時間祈りささげたことのない私は、3時間を目標にして聖体礼拝を始めた。そののち3日間目は目をつぶるとご聖体の残像を見ることが出

来、その心地よさを求めその後も何度か通った。その当時のことを思い出し黙想した。

【布池教会】

名古屋知牧区が司教区になると共に献堂された司教座教会。

「歴史を知り、これからを考える」という主旨の司教様のお言葉を思い出し黙想した。

【緑ヶ丘教会】

この教会を訪れるのは初めてだが、この地区を訪れるのは3度目。

子供のころ従弟と一面の野原で遊んだ。

学生の時宅地造成のバイトで土を運んだ。

そして今回、整えられた道路と見渡す限りの住宅地を目の当たりにした。

私が最初にこの地を訪れた頃だろうか、クラレチアン修道会の修道院でのミサに与る人が一人また一人と増え、教会献堂に至ったのことを思い。「からし種が地に落ち鳥が巢を作るようになる」という聖句を実現した。

床も椅子もきれいに磨かれており、信者の方が聖堂を大切にしていると感じた。

巡礼は巡礼地のみで行うのではなく、巡礼地までの旅程で準備が整

い、帰宅の道のりで完成されることを学んだ。



緑ヶ丘教会

私たちは聖人になれますか

「その2」

レジオマリエ創立者

フランク ダフ

誰が聖人になるように招かれていま

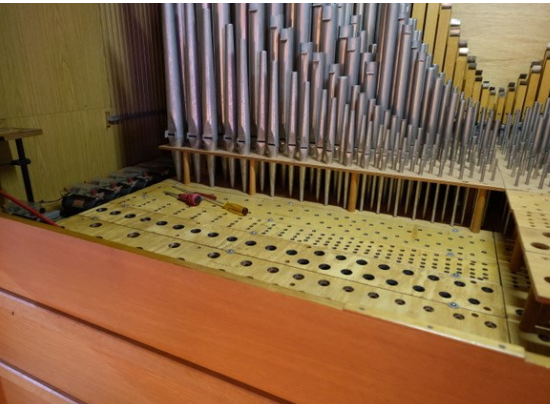
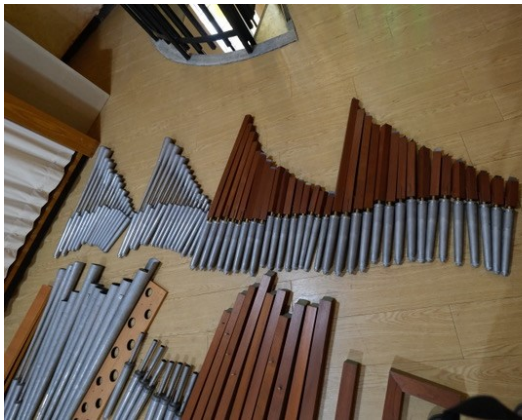
すか。

生まれてくるすべての人は聖人になるように招かれています。あなたの人生がどれほど聖性にふさわしくないように思えても、聖性に至るための恵みが十分与えられていることを確信してください。私たちは、自分の力以上のものは期待できないと思いがちですが、聖性はいかなる階級や生活様式にとっても、排他的なものではありません。

パイプオルガン修理点検

教会によって列聖にされた人たちは、王たちを始め、奴隷、隠遁者、一般市民、母親、病人、兵士とあらゆる階層の人がいます。また、彼らは、様々な人種や肌の色の違った人々たちによって構成されています。列聖された聖人は神が私たちに示して下さったお手本なのです。ですから、全ての人が聖人になるために招かれていることは明らかです。そして、真剣に神の召命に応えようとする人に、神は目標を達成するための十分な助けを与えて下さることも事実です。

*レジオマリエでは随時会員を募集しています。



典礼一口メモ

♪香部屋の窓から♪第59・5回
「レクトールとアコリユート
ス」のお話 ※実はリバイバル

典礼委員長 新内飛鳥

主のご復活おめでとうございます。前回までの流れから行くといよいよ「交わりの儀」の話を取り回なのですが、ご復活という節目を迎えたことと、先日、私たちの友である「終身助祭候補者の秋元さん」がカテドラルで「朗読奉仕者の選任」を受けました。この出来事にちなんで、以前、掲載したことのある話をリバイバルいたします。

朗読奉仕者（レクトール）と祭壇奉仕者（アコリユートス）のことを書きます。朗読奉仕者は典礼総則によれば、ミサは『ことばの典礼と感謝の典礼』によって構成され、この二つは互いに緊密に結ばれている（総則8）。そして、『聖書が教会で朗読されるときは、神ご自身がその民に語られ、キリストは、ご自身のことばのうちに現存して福音を告げられる。したがって、神のことばの朗読は典礼のもっとも重要な要素であり、一同は尊

敬をもつてこれを聞かなければならない。』（総則9）と書かれています。また、『神はそのことばを伝えるとき、つねに答えて待つておられる。典礼行為において聞くことが、生活において生かされるようになる。』（緒言6）とも書かれています。『ミサの中で聖書朗読や聖書からの歌が、欠けたり少な

手引きなどを通じて所作や動作をお伝えしていますが、それらは「絶対にそうだから譲れない」と言うものではありません。ここに書いてあるからこうするのだと固執することの無いように実際にはミサの捧げられる場、ともに奉仕する人たちとの空気あるいは呼吸を大切にしてください。

書以外の朗読と置き換えられたりすることは許されません。』（総則12）とはっきり書かれています。このように大事な朗読の奉仕に預かることは、典礼の中の重要な役割を担うことになります。それでは良い朗読とはどのようなものでしょうか？

祭壇奉仕者と言うのは小教区で信徒の間ではなかなか耳馴染のない言葉ですが司祭とは少し違う立場で祭壇に奉仕する人のことです。侍者に似ていますが「侍者のようなもの」と言うところから理解はしやすいのですが、実は全く同じではなく助祭と侍者の間と言う感じでしょう。古くは「侍祭」と呼ばれ、5世紀頃の記録によれば、ろうそくの火を灯し、ぶどう酒や水の準備をし、教皇が聖別したホスチアを他の教会に運ぶ役割をもっていました。トリエント公会議（16世紀）で「侍祭」は、司祭候補者だけに限られました。しかしミサを捧げるためには最低一人、司祭の祈りに応答する者が必要だとされたことから、「侍祭」がない場合は、「侍者」

あるいは「ミサ応え」と呼ばれる少年が奉仕するようになります。このことが侍者は子供の役目というイメージにつながっていると思います。聖職位階の上位として司教、司祭、助祭、さらには下位として侍祭、祓魔師、読師、守門の合わせて7つの位階が中世より存在しましたが、やがて第二バチカン公会議の典礼刷新を受けて、教皇パウロ六世は、司祭候補者だけに限られていた「侍祭」を廃止しました。現在は、信徒が担うことのできる奉仕として「祭壇奉仕」「聖体奉仕」として整理されています。不詳私のことを書きますが、記憶のあります方もおいでと存じますがジェブーラ主任司祭の時代に遡りますが、通常の侍者の奉仕とは別に、感謝の典礼の時に司祭団と共に祭壇を囲みミサ典書のページをめくるなど本のお世話をしたり聖体拝領の時にはご聖体をお配りしておりました。（現在も、司祭の手が足りない時にご聖体の奉仕をさせていただいています。）まさにこの二つの奉仕に当たります。私の場合の根拠に

不在時の集会祭儀司式者」（わてです。）朗読奉仕はキリスト
 かりやすく言うくと神父様がいないに代わって神の言葉を伝えると
 いときに“御言葉の祭儀”を司いう重要な役割だからです。し
 式する者）と言う役務的奉仕がかしながら同時に「読むと言う
 あるのですが憚りながら新内は奉仕」をささげる側面がありま
 これの養成を受けて野村名誉司す。南山教会に限らず「読み手
 教が教区長の頃に免許皆伝されの確保」ということも必要に迫
 ております。南山教会は近隣にられることがありますが、時
 神言修道会の修道院もありその代の背景もあります。南山教会
 協力をもつてすれば「司祭不在」の後者の道を選びとったとい
 うという状況に遭遇し得ないことです。美しい声で上手に伝
 えるでしょう。さて話を戻しまえられるに越したことは無いの
 です。この観点で捉えると冒頭ですが誰もが同じようにできま
 すと、この朗読奉仕者の源流は、やはり聖霊が私たちの欠けたところを
 朗読奉仕者の源流は、やはり聖霊が私たちの欠けたところを
 廃止された位階の「読師」にあり補ってくれるのです。その奉仕
 たります。朗読奉仕者も祭壇奉仕者も司祭候補者（終身助祭候
 仕者も司祭候補者（終身助祭候と「はげみ」を考えると南山
 補者を含む）がそれを受ける場教会でも「選任式」的な儀式が
 合は荘厳に「選任式」が行われあるといいと長年思っています
 ます。秋元さんが受けた式がま主任司祭とよく相談して整
 さにこれです。小教区では割合とシンブルに「じゃあ」のメン
 備して行けたらと思います。



ナザレ館 植樹



第8回小教区宣教司牧評議会

司祭団より

4月2日

今日のごミサでウィル助祭が出られました。4月14日にジョナサン神父も南山教会に來られる予定です。

報告・連絡事項

1. 次期評議員について

新しく評議員となられた方からご挨拶がありました。松田さん(ヨセフ会)、加藤さん(信徒協)、鈴木さん(要約筆記者の会)、荒川さん(レジオマリエの会)、松本さん(マリア会)、秋元さん(英語ミサ)

2. 主日ミサ時間について

アンケートを取り、従来の時間である8時のミサを残してほしい希望が多かったので、8時と10時のミサを行うことが可決されました。4月16日よりこの時間になります。

3. 納骨堂の運用について

3月25日に納骨堂管理委員会を開催しました。

①納骨堂追悼ミサが3年間できていませんでしたが、今年は開催の方向で動いていきます。

通常は400人程度集まるの

で、11月第二日曜日(11月12日)に13時、15時の2部で行う予定です。

②利用状況については、4体、8体、共同ともに十分な余裕があり、23年度の増設予定はありません。

3. その他

ヨセフ会

アンケートを実施し、110名程度の方から回答がありました。高齢によりミサの案内係ができない、若い人は仕事でできない、学生は名古屋に居ないなどありました。年1度のヨセフ会全体集会に替えて、マリア会の例会にならうような会を設けたい。8班から7班へ減らし、メンバーの見直しも行いました。アンケートの内容はなかなか厳しいものでした。

社会委員会

委員長は神戸さん、メンバーは信徒協と宣司評に選出された方の中で選ばれます。

やることは、司教様が認められた様々な内容を、小教区司祭の確認の上で信者の皆さんにお伝えします。

審議・相談事項

1. 今後のコロナ対策について

松浦司教様より「新型コロナウイルス対策について(17)」が届きましたので、抜粋いたします。

①・換気を良くすることを前提に、基本的にはマスク着用は任意(自由)とします。

ミサでの司式者と全信徒の交唱、歌も可能です。ただし、特に全員で歌う場合には換気状況や混み具合(密)に配慮した対策を臨機応変にとってください。

②・ミサでの参加人数制限はありません。ただし、通常の定員を超えるような密は避けるようにしましょう。換気が難しく、思いがけなく定員を超えて人が多く集まった場合には、全員で歌うことを避けるなどの対策をとるようにしてください。

以上、教区基本方針を基本とし、3月19日(日)より小教区の状況を考慮しながら、実施してください。

◎上記指示文書について、南山教会での運用方法が審議されました

◎換気について、文書1.の内容により、炭酸ガス濃度の計測を含め、今まで通り行います。

○マスク着用について、基本的に任意(自由)にしますが、復活徹夜祭は混み合うことが予想されますので、その時は着用が必要となります。

○定員について、コロナ禍以前には、600名にてミサが開祭されることがありました。

この状態は明らかに密な状態であり、聖歌の御唱和の際、飛沫の直接曝露を避けることが出来るはず、クラスター発生の危険があります。現在は間隔をあけて定員を210名と設定しておりますが、通常の主日ミサの参加人数を鑑み、当面の間定員を250名とすることで対応いたします。

聖歌については、復活の主日(日中)から答唱詩編とアレルヤ唱はどのミサでも会衆が歌っていきます。

今後徐々に増やす方向で考えていきます。

4月16日までに、ストーブやアルコールなどを撤去します。検温器は引き続き設置し、社会の状況を鑑みながら判断していきます。

5月の評議会時に、またその時の状況を見て決めることにし

ます。

2. 聖週間・復活祭ミサについて

当日の役割について、最終確認ができました。

聖堂案内係4名・ミサ配信係2名・マリア館ホール案内係2名・マリア館ホールのミサ配信係2名。

緊急対応係1名(医師または看護師) 計16名 4月6日(木) 19時からの聖木曜日ミサで洗足式、ヨセフ会から12名

3. 今後の教会行事について

◎基本方針…通常通り再開の方向ですが、今にふさわしいやり方で再構築していく考えです。

◎教会行事予定表について…案の状態を皆さんで確認し、各会の内容の書き込み依頼がされました。

◎バザーについて…75周年の準備もバザー委員会の中で一緒に検討していただくことになりました。

4月23日10時ミサ後に1回目のバザー委員会・75周年記念事業検討委員会を開催予定です。バザーの開催候補日は10月22日です。

◎バザー・75周年準備委員会メンバーは以下の通りです。

バザー委員長…松浦典文さん、副委員長…後日ヨセフ会から人選、ヨセフ会会長…小池さん、マリア会会長…伊澤さん、

財務委員長(会計担当)…伊藤恭輔さん、ナザレ館竣工式委員長…伊藤雅之さん、

典礼委員長…新内さん、ヨセフ会から2名、英語ミサから秋元さん、青年会…松浦友助さん。

信使代表…森さん、パウロ主任司祭助任司祭1名

◎75周年について

2025年に記念事業を行うことを今後検討する。

4. 教会敷地内の防犯カメラ設置について

過去に敷地内でいたずらなどが発生しており、警察が来るときはまず防犯カメラが無い聞かれる。

設置について賛成多数でした。設置場所や内容については委員会を作り、パウロ神父様がメンバーを決めます。

5. その他

教会の車について、当初は新車のプロボックスを予定していましたが、いつも付き合いのある自動車屋から状態の良い日産のセレナを紹介されました。

で、そちらを購入します。諮問委員会も承認済みです。

各会報告

①典礼委員会

4月6日(木)主の晩さんのミサ 19時〳〵洗足式が再開 ※「神のいつくしみ」のノヴェナが始まります〳〵15日

4月7日(金)主の受難の典礼 19時〳

4月8日(土)復活徹夜祭 19時〳

4月9日(日)この日が11時ミサの最終日です

4月16日(日)神の慈しみの主日 この日〳〵主日ミサの時刻が変わります 9時30分〳〵10時 他ミサはこれまで通り

4月29日(土)名古屋教区典礼研修会〳朗読研修 13時30分カテドラルにて

※先の話ですが、典礼奉仕者の全体集会はパウロ神父様の帰りを待って9月10日に開催します。

②中高生会

2023年度の中高生会の集いは通常通り毎月の第2・3日曜日、10時ミサ後に行います。

③教会学校 3月19日(日)

卒業式・終業式

次回評議会 5月7日



神の慈しみのチャプレットの啓示

この祈りはわたしの怒りを宥めることに役立つ。あなたは、ロザリオの珠を使って、九日間、それを次のように唱えなさい。最初に、主の祈り、聖母マリアへの祈り、使徒信条を唱えなさい。次に、主の祈りの珠で、次の言葉を唱えなさい。『永遠の父よ、わたしたちと全世界のすべての罪の贖いのために、あなたの最愛の子、わたしたちの主イエス・キリストの御体と御血、御靈魂と神性を御前に献げます。』聖母マリアへの祈りの珠を使って、次の言葉を唱えなさい。『イエスの痛ましい御受難によって、わたしたちと全世界にいつくしみを注いでください。』結びとして、この言葉を三回唱えなさい。『聖なる神、聖なる全能の神、聖なる永遠の神よ、わたしたちと全世界を憐れんでください。』

【訳者注】『イエスの大いなる受難によって、わたしたちと全世界に慈しみを注いでください。』という訳文が日本では用いられてきたが、原文の正確な訳は『イエスの痛ましい御受難によって、わたしたちと全世界にいつくしみを注いでください。』ですと、梅田博士(ワルシャワ大学日本語学科教授文学博士)は言われた。』

聖ファウステイナの日記 わたしの
靈魂における神のいつくしみ
聖母の騎士社

信者の消息

結 婚

♡ お幸せに ♡

3/25 ユーヘニオ 阪倉 ユーヘニオ 創 □ 森 満美子

転 出

いつまでもお元気で

小さい花のテレーズ 中園 里穂 (成城教会)
アシジのフランシスコ 稲垣 郁 (布池教会)

帰 天

神の栄光にあずかれますように

ヒルデガルド 吉川 房枝 (100歳)



子どもの先唱による十字架の道行

2023年4月・5月行事予定表

	教会典礼暦	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
4月	9(日)復活の主日 16(日)神のいつくしみの主日		3(土)典礼委員会 4(日)南山小教区宣教司牧評議会 9(日)中高生会始業式 14(金)マリア会例会(懇談会)	15(土)レジオマリエ名古屋クリア
5月	聖母の月 21(日)主の昇天 28(日)聖霊降臨の主日	(決算書の承認) 決算書提出 14(日)マリア祭の聖母行列(9:15) (母の日) (日)教会美化・BBQ	6(土)典礼委員会 7(日)小教区宣教司牧評議会 12(金)マリア会例会(懇談会) 21(日)ヨセフ会全体集会・班長会 21(日)教会学校潮干狩り 20(土)子ども部屋 27(土)要約筆記付きミサ	7(日)城東ブロック 14(日)世界広報の日(献金) 20(土)レジオマリエ名古屋クリア 21(日)一粒会総会 (日)インターナショナル・ミサ (日)わだち祭り 28(日)教区聖年閉幕ミサ